

パゴダの王子

2014.6/12 ~ 15

レパートリー
Repertory

The Prince of the Pagodas

オペラパレス | 5回公演

●前売開始：2014年3/16（日）

2014.6/12（木）7:00 13（金）2:00 14（土）2:00 / 7:00 15（日）2:00

●料金 S：12,600円 A：10,500円 B：7,350円 C：4,200円 D：3,150円

2011年、新国立劇場バレエ団によって初演され、大変高い評価を得た大作の待望の再演です。元々はジョン・クランコが構想したバレエ作品で、イギリスの作曲家ベンジャミン・ブリテンに音楽委嘱し、3幕構成の『パゴダの王子』が英国ロイヤル・バレエで誕生しました。その後マクミランも手を入れ、新演出として上演されましたが、新国立劇場での新制作にあたり、ビントレーは物語を練り直し、歌川國芳の浮世絵にインスピレーションを得て全く新たな『パゴダの王子』を創り上げました。日英の文化を融合させ、主人公さくら姫の冒険を通して家族の絆を力強く、ユーモアたっぷりに描いた「日本をテーマにしたファンタジー」バレエ。英国では13年に作曲家ブリテンの生誕100周年を祝う Britten 100の関連企画として、14年2月に英国バーミンガム・ロイヤル・バレエによる本プロダクションの上演が決定しています。

音 楽：ベンジャミン・ブリテン

Music： Benjamin Britten

振 付：デヴィッド・ビントレー

Choreography： David Bintley

美 術：レイ・スミス

Designs： Rae Smith

照 明：沢田祐二

Lighting： Sawada Yuji

指 揮：ポール・マーフィー

Conductor： Paul Murphy

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra： Tokyo Philharmonic Orchestra

ものがたり

皇帝は息子の早すぎる死を嘆き、その悲しみからどうしても立ち直れずにいる。時は流れ、妹君のさくら姫に4つの王国の王が求婚する。継母である皇后エピーヌは求婚者たちの富や権力故にさくら姫の結婚を熱望するが、彼女の心は動かず結婚を拒む。そこへ5人目の王子が現れる。彼は実は継母の呪いでサラマンダーにされたさくら姫の兄だった……。さくら姫は様々な試練を受けながらも、サラマンダーとともに彼の王国パゴダにたどり着き、その地でこのサラマンダーが長く会わなかった兄であったことを知る。妹と兄は力を合わせて帝国に平和を取り戻そうとする……。

